

セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE SUMMER

# ルカ新聞

No.25  
2012.6.



由布岳

柘ざ榴くろ

主の祈り

天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますように、み国が来ますように、み心が天に行われるとおりに地にも行われますように、わたしたちの御日の糧を今日もお与えください、わたしたちの罪をお許しください、わたしたちも人を許します。わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください、国と力と栄光とは永遠にあなただけのものですよ。

参考…ルカによる福音書11章2-4節

これは毎日曜日、教会で祈るわたしたちにイエス様が教えてくださったお祈りです。世界中で同じ祈りが毎週日曜日に行われています。この中にはわたしたちの思いすべてが凝縮されて入っています。はじめの4節はともかくとして、「日々の糧」とはわたしたち人間が生きてゆくための肉体的、精神的、社会的に必要なものを指します。よってほとんど現実の生活で必要なものです。必要なものはちゃんとお願いできます。また次に「罪を許す」とありますが、前提として私たちがまず許さねばなりません。いやな他人でもまず許す、そうすればわたしたちも許していただけるのです。誰でもここに引掛かりを感じると思います。そして「そうしなければなあ」と反省すると思います。難しいことですができるだけさうしなければなりません。そしてさらに「悪より救い出し」ていただきたいと願います。試み、誘惑、試練にあわせずに救っていただきたい。誰でも困難に遭わずに救われたいのです。この短い、しかしぎゅっと「パンクト」にまとめられて、しかもすべてを網羅しているエッセンスのような主の祈りは、覚えておいて損はしません。神様は本当の困難に際しては必ず助けてくださるのですから。



## 巻 頭 言

院長 宇津宮 隆史

ルカが大分駅上野の森口(南口)に移転してきて1年が経とうとしています。先日の調査では、2割の患者さんが公共交通機関で来院されており、ひとつの目的は順調に進んでいると思いました。新患数、妊娠数、手術数も増加しています。さて、患者さんへのサポートはどうでしょうか。不妊治療の目標はただ子供が生まれるだけでなく、健康な子供を得、育て上げ、立派な社会人として世の中に送り出すことです。それにあたっては患者さんへ講座でお話しています。なぜかという、世の中には不幸な方々も多いのですが、中には不妊治療を介して生まれた人の中にそのような人がいることに気がついたとき、本当にやりきれない思いがしたからです。前にも述べた非配偶者間生殖医療(特に提供精子)で生まれた方々で、その事実を大人になるまで知らなかったという非常に不条理な経験をされている人がいます。そのような子供は今でも毎年200人くらい生まれてきています。そしてその子供たちのほとんどは、自分がそうして生まれてきたことを知らずに育てています。ところがそれを偶然に知った人たちが現在5名います。わたしは数年前からその方々と親しくさせていただいており、全員がその事実(生物学的父親は今の父親とは違うこと)を知ったとき、混乱とアイデンティティーの崩壊を感じていました。そして、ほとんどの方がいまだにそのトラウマを抱えて生きておられます。外国でも同様に、アメリカではクレイマーという母子が同様な経験をした、またはそうではないかとの疑いを持っている人たちにネット上で呼びかけ、賛同者は3万人以上に達したとのこと、さらに一昨年にはデンバーにそれらの人々が集まり、DNA鑑定まで行い、8,900人以上が兄弟・親子であったことが判明したとの情報も入ってきています。このように、自分のルーツは自明のものでなければならぬはずで、よってわたしはこの問題にも生殖医療の大きな解決

すべき点があると思い、京都大学名誉教授 森崇英先生に相談したところ、先生から「それは2-3年かけて徐々にその点を議論する環境を作ってゆくべきで、一足飛びには解決しないよ」とアドバイスをいただきました。そこで昨年の第29回日本受精着床学会（東京）でそのパネルディスカッションを組み、慶應義塾大学教授 吉村泰典先生、AID（非配偶者間人工授精）で生まれた方2名、さらに衆議院議員 野田聖子氏にも加わっていただきました。今年8月の第30回日本受精着床学会（大阪）でもシンポジウムを組めることになりました。また、今年の11月には第57回日本生殖医学会（長崎）でも同様にシンポジウムを組み、さらに来年、わたしが会長を務めます第31回日本受精着床学会（別府）では、このことについて最終的に会員全体の同意を得るべく現在考えています。

別府の児童養護施設にかかわるようになって1年半になります。ここの子供たちは家庭崩壊（しかも虐待を受けた子供も多い）が原因でこの施設に住んでいます。この子供たちには何の罪もありません。このような子供は一人でも少なくしなければなりません。そのためには夫婦と子供、家庭ということを真剣に考え、理想的な家族の形態を目指さなければなりません。そう考えてみれば、基本は夫婦です。夫婦が幸せでなければなりません。そしてそのうえに立って子供があります。生まれてくる子供が第一です。そのような視点に立ったとき、初めて生殖医療の本質がおのずと明らかになってくるでしょう。またそれがわれわれの神様から与えられた宿題であり、努力目標であらうと信じています。





## 研究室だより

今回は、培養室内の紹介をしたいと思います。2階の廊下窓から見えるクリーンルームを覗いてみてください。写真①は、クリーンベンチでスタッフが患者さんの卵子や胚を顕微鏡で観察しているところです。移植の際には、**モニター**に胚が映ります。

写真②には、**培養器(インキュベーター)**と、奥には**エアシャワー**の扉も見えます。培養室には8台の培養器がありますが、この中では患者さんの大事な受精卵が培養されています。1台につき最大4名の患者さんの受精卵が入ります。エアシャワーは、クリーンルームに入るときに必ず通って細かな塵など落とします。左の壁の向こう側はオペ室で、パスBOXで繋がっています。

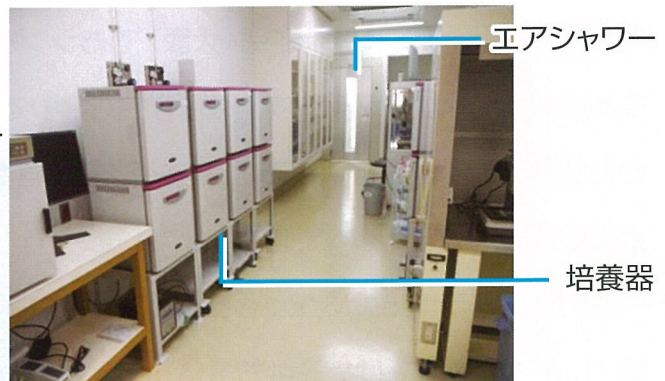
写真③手前の**採卵用クリーンベンチ**では、採卵の際に卵子を探します。他にも**顕微授精を行う顕微鏡**が2台あります。窓からは少し見えにくいかもしれませんが、その奥には、**呼吸量測定装置**もあります。さらに奥の扉は**凍結タンク室**の入り口です。凍結保存用の液体窒素タンクが大12基、小6基あります。クリーンルームの隣は採卵室で、パスBOXで繋がっています。採卵や移植の際には、このパスBOXから卵子や受精卵の受け渡しをしています。

培養室スタッフは8名いますが、清潔度を保つため、クリーンルーム内で仕事をする人は毎日3人程度と、出入りを制限しています。

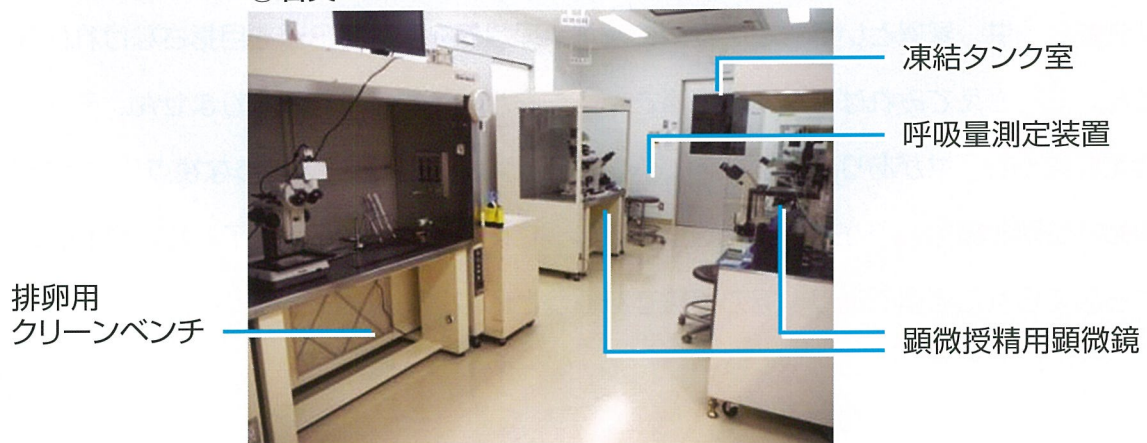
①正面



②正面



③右奥





# 看護部だより



## 不妊治療施設における肥満患者に対する体重管理について

肥満傾向にある患者さんに「グラフ化体重日記」を用いて体重指導を行ったのでその有効性と今後の課題について調査しました。

看護部 足立直美

### 指導方法

大分大学医学部病院教授吉松信博先生考案の「グラフ化体重日記」を用いて指導

#### グラフ化体重日記とは…

1日 体重測定

起床直後
朝食直後
夕食直後
就寝直前

4回測定

- ・専用の体重記録用紙に測定記録を記入
- ・週1回～月1回程度面談を行う→グラフ記入内容の確認、指導
- ・体重減少の目安は1週間に0.5～0.75kgとする
- ・体重の変動を自分で確認し、自己管理できるようにする

### 実際の治療の流れ

BMI 24以上の患者さんを対象

- ・医師の指示
  - ・看護師よりの声かけ
  - ・患者さんの希望
- ・不妊症と肥満の関係について説明  
・体重管理の方法について説明

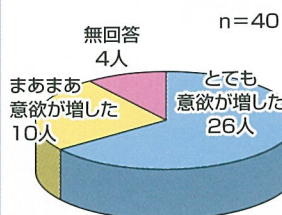
1～2週間毎を目安に受診時面談

自己管理が出来るようになれば

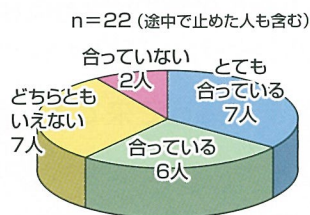
1ヶ月毎の面談

### グラフ化体重日記について

体重管理に関する説明後の気持ちの変化  
(体重指導開始時)



グラフ化体重日記での体重管理を始めて半年後の気持ち  
(この方法が自分に合っているか)



【患者さんからの意見】

- ・毎日のグラフの変化を知る事で食べ物調節が出来る様になった。
- ・簡単な事。グラフでわかりやすい。

### 半年後の結果

半年以上継続した患者さん13名 平均継続期間 (n=40) 3.3ヶ月

半年以上継続した人の体重の変化 (n=13)

(体重減少)  
最大 -20.5kg  
最小 -0.7kg

	開始時	半年後	増減幅
平均体重 (BMI)	73.45kg (30.20)	69.02kg (28.45)	-4.43kg (-1.75)
平均体重 (BMI) 妊娠者6名	78.60kg (31.66)	70.76kg (28.48)	-4.84kg (-3.18)

半年以上の継続人数と転帰  
13名 → 妊娠 → 6名 (流産1名)  
治療継続中 → 4名 (流産1名を含む)  
治療中断 → 4名

妊娠人数・有効治療 6名 → タイミング → 4名 (流産1名)  
体外受精 → 2名

### 症

#### 体重減少が最大だった症例

Aさん

初診時 年齢30歳前半

身長 159.0cm 体重 96kg (BMI 38.0)

初診時診断：原発性不妊症・卵巣機能不全・PCO

不妊期間：3年4ヶ月 (他院にて治療歴あり)

当院治療期間：10ヶ月

### 例

#### 治療経過

初診時、医師より減量の指示あり、体重指導を始めた。7ヶ月間の指導後、体重78.7kg (BMI 31.1) となった時点で本格的な治療を開始、その後も体重管理を続けた。HMG+タイミング療法3回目に妊娠、10週で産科施設紹介となった。体重75.5kg (BMI 29.9) であった。※36週 自然分娩で2670gの女児出産

半年以上継続した患者さんは、体重減少がみられました。継続して体重指導を行ったことで妊娠に繋がった患者さんもいた為、体重指導は効果があったと思われます。

当院の方針として、ハイリスク妊娠を極力避け周産期まで見越した関わりの一つとして体重指導を今後も継続していきたいと思っております。指導を希望される方は気軽に声を掛けて下さい。

## 受付より



みなさん、こんにちは！ この度、受付スタッフが1人増え、5人体制になりました！

「目配り、気配り、心配り」を忘れず、受付スタッフ一同頑張りますのでよろしくお願い致します。

さて、2011.4.1～2012.3.31まで当院を通して不妊治療助成金が交付された金額が集計されましたので受付より報告いたします。

	人 数	申請回数	助成金額
大 分 県	101	196	28,846,600
大 分 市	173	294	57,311,900
他 県	2	4	600,000
県と市両方	46	55	5,558,700
大分市以外	7	7	410,800
市町村のみ	2	2	200,000
合 計	331	558	92,928,000

### 不妊治療費助成事業医療実施証明書について

#### 申請回数・助成金額

- ・特定不妊治療について申請を行う **初年度(1年度目)** 限り、年度内3回まで申請可能です。
  - ☆大分市 → 1回・2回目 各20万円、3回目 15万円
  - ☆大分県 → 1～3回目 各15万円
- ・前年度、申請された方は、年度内2回までです。
  - 1回の上限 → 大分市は20万円、大分県は15万円です。

#### 申請期間

**「大分市」の申請をされる方は、治療が終了した日から60日以内の申請が厳守です！**  
(特定不妊治療以外の治療の場合は、年度内最後の施術日から60日以内の申請)

申請可能な方は、出来るだけ早めに受付まで持って来て下さい。  
皆様、ご協力をよろしくお願い致します！

## 心理相談室より



### 心理相談(カウンセリング)って？

ここでは、  
なにを話しても、  
何度来てくださっても  
大丈夫。

患者さんのところに浮かぶことを一緒に感じながら一緒に考えていくものです。

他所では非常識と思われそうなことでも、恥ずかしくて話せないことでもここでは大丈夫です。

「こんなことでカウンセリングを受けても…」なんて思わずに、気軽にお話にきてください。お待ちしております。

料金：一回一時間を目安に1370円(体外受精の方は無料)

# The International Ovarian Conference 2012

## 卵巣に関する国際カンファレンス2012参加報告

2012年3月17日(土) 京王プラザホテルにて開催

院長は、『生殖補助医療のエピジェネティクス』について御講演をされました。  
研究室からは、ポスター2題を発表しました。

### DNA methylation errors at imprinted loci after ART conception originate in the parental sperm

(ART後の流産における絨毛染色体検査結果が正常核型の絨毛と対応精子のメチル化解析)

流産後の絨毛染色体検査結果が正常であった検体に注目し、11例についてDNAのメチル化解析を行いました。その結果目立った異常は見られなかったが、過去に調査した検体では低メチル化を示したものもあったことから、今後もさらに研究を進め、ARTの安全性について評価していく必要がある。



この演題はポスター賞を受賞しました。

授賞式には、共同研究者の東北大学医学系研究科 有馬隆博教授が出席してくださいました。

### The influence of the anticancer drug cyclophosphamide on fertilization and embryo growth in a mouse model

(抗がん剤(シクロフォスファミド;CPA)投与によるマウス受精能への影響)

現在、血液疾患などの治療中に妊孕性温存目的で卵子凍結を希望する患者さんがいます。この血液疾患の治療時に用いた抗がん剤が卵子にどのような影響を及ぼしているかを調べるために、マウスに抗がん剤を投与し、得られる卵子の数や受精能を検討した結果、抗がん剤の投与量が高濃度になるほど得られる卵子の数は減少するが、その得られた卵子の受精能はほとんど変わらないという傾向がみられました。



大城麻依 (受付)



## 新人紹介



まだまだ学ぶ事がたくさんあり、至らないところもありますが、少しでも皆さんの力になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

# 2012年 前期を振り返って

01.04 01.06 01.06 01.07 01.10 01.12 01.14 01.17 01.19 01.21 01.22 01.22 01.24 01.28	<p>新年会(セント・ルカ多目的ホール) 2012年度 JISART 部門別研修担当者話し合い(広島) 参加(熊迫、大津) クリニック(福岡)より2名ご来院 第1回 JISART フォローアップ担当者ための研修(東京) 講師(上野) 参加(院長) 株式会社バズラボ フリーマガジン「ジネコ」春号(Vol.13)取材 東北大学(宮城)より2名ご来院 第61回 新患教室 参加者64名 参加(大城、大津、阿南、坂本、手島、川村、後藤裕) 第154回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生、伊藤節彦先生ご来院 セント・ルカ産婦人科新病院施設半年点検 第33回 日本エンドメトリオロジー学会(長崎) 参加(手島、越光、院長) 無加湿型インキュベーターのユーザーミーティング(愛知) 参加(熊迫、大津、河野、関、越光) 医療従事者の雇用の質の向上のための研修会(大分) 参加(越名、後藤裕) ISO9001マネジメントレビュー 院内全体研修: 避難訓練のまとめ、消防法について(担当: 研究室・培養室) 第177回 体外受精教室 参加者70名 参加(山路、大城、小池、阿南、北田、岡田、赤嶺、関) 第10回 第7期オリーブの会 参加者3名</p>	04.10 04.21 04.22 04.26 05.08 05.12 05.19 05.20 05.20 05.22 05.26 06.01 06.02 06.03	<p>第157回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 九州産婦人科内視鏡手術研究会(福岡) 参加(河野、越光、河邊) 第8回 発表:「産後希望のある子宮内膜性卵巣嚢腫の取り扱いについて」(院長) 第69回 日本生殖医学会九州支部会(福岡) 参加(越光、上野、河邊) クリニカルアドバンスⅡ座長: 院長 発表:「ART 後の産産における絨毛染色体検査結果が正常の絨毛と対応精子のメチル化解析」(佐藤晶子) 「Implantation window を考慮した DAY 5凍結胚盤胞の融解日および移植日調整の有用性について」(後藤香里) 「着床前診断の適応症例についての考察」(大津英子) 「在宅自己注射におけるヒヤリ・ハットアンケート調査」(亀井里砂) 「不妊治療施設における肥満患者に対する体重管理について」(足立直美) 「妊娠に至らず治療終了した患者を囲心会」(松元恵利子) 「治療体験者を招いての患者会(オープングループ)の取り組みと課題」(河野純子)</p> <p>日本生殖医学会九州・沖縄支部会評議員会(福岡) 参加(院長) 第10回 日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会(北海道) 参加(院長) 発表:「不妊治療専門施設における検体の取り扱いと感染防止について」(長木美幸) 「在宅自己注射におけるヒヤリ・ハットアンケート調査」(亀井里砂) 第180回 体外受精教室 参加者49名 参加(足立小、大津、萬、北田、岡田、二宮、赤嶺、関)</p> <p>第158回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 第49回 「赤ちゃん～今ならきつと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者59名 講師(越名(受付)、後藤裕(看護師長)、上野(臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生) 参加(工藤、金子、萬、手島、足立直)</p> <p>第8期オリーブの会 ナースのための ART 医学セミナー2012(東京) 参加(岡田、越光) 講師:「子宮卵管造影検査の落とし穴」(院長) 第53回 日本哺乳動物卵子学会総会学術講演会胚培養セッションのためのミーティング(東京) 参加(院長)</p> <p>JISART 施設認定審査 審査員(上野) 第16回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員: 上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、緒方俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、近藤邦子先生(別府平和園 保育士)、指山実千代(セント・ルカ産婦人科 看護部顧問)、野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) (五十音順)</p> <p>第53回 日本哺乳動物卵子学会総会学術講演会(大阪) 講演:「ヒト卵管内液組成に基づく胚塔地の検討(2) ヒト余剰胚による検討」(院長) 発表:「ART 後の産産における絨毛染色体検査結果が正常核型の絨毛と対応精子のメチル化解析」(佐藤晶子) 「Implantation window を考慮した DAY 5凍結胚盤胞の融解日および移植日調整の有用性について」(後藤香里)</p> <p>株式会社バズラボ フリーマガジン「ジネコ」秋号(Vol.15)取材 第181回 体外受精教室 第19回 セント・ルカセミナー 講師: 山川 信良先生(弘前大学名誉教授 セミナー医療と社会代表) 「生殖医学と人口問題のこれまでもこれから」 講師: 青木 不孝先生(東京大学新領域創成科学研究科 教授) 「卵のクオリティ(成熟能と発生能)について」 講師: 河村 和弘先生(聖マリアンナ医科大学大学病院生殖医療センター長) 「体外受精の歴史と今後の展望」 講師: 有馬 隆博先生(東北大学大学院医学系研究科情報遺伝学分野 教授) 「胎盤形成とゲノムインプリンティング」 講師: 才村 眞理先生(帝塚山大学心理福祉学部 教授) 「生殖補助医療と家族の絆～子どもの福祉の視点から～」</p> <p>2012年度 JISART 部門別教育セミナー(東京) 参加(足立小、越名、熊迫、大津、篠田、後藤裕、上野) 第39回 JISART 理事会(東京) 参加(院長) 第10回 JISART シンポジウム(東京) 参加(足立小、越名、熊迫、大津、篠田、後藤裕、上野、院長)</p> <p>第159回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 日本生殖医学会 平成24年 第1回 通常総会(東京) 参加(院長) 第6回 不妊症セミナー「不妊治療 知っておきたい心とカラダ」(熊本) 講演:「ふたりで歩く不妊治療～こころのお話～」(上野桂子)</p> <p>日本受着着床学会 平成24年度 第1回 常務理事会(東京) 参加(院長) 第24回 大分内視鏡外科学会(大分) JISART 非配偶者間生殖医療実施施設の医師・スタッフ向け研修(大阪) 講師(上野) 参加(院長)</p> <p>第4回 JISART フォローアップ部会・第2回 JISART 相談部門会(大阪) 参加(上野)</p>
02.04 02.06 02.07 02.15 02.18 02.18 02.19 02.21 02.25 02.25 02.26 02.28	<p>第15回 胎児遺伝子診断研究会(東京) 参加(佐藤、院長) 発表:「着床前診断の適応症例についての考察」(大津英子) セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員: 上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、緒方俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、近藤邦子先生(別府平和園 保育士)、指山実千代(セント・ルカ産婦人科 看護部顧問)、野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) (五十音順)</p> <p>第155回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 平成23年度 第3回 地域子育て支援連絡会議(大分) 講演:「子どもの死や障がいに向き合う母親への心理的サポート」(上野桂子)</p> <p>第62回 新患教室 参加者83名 参加(後藤香、手島、川村、足立直、後藤裕) 日本生殖医療心理カウンセリング学会 生殖心理カウンセラー-不妊相談士第3回継続研修会(福岡) 参加(篠田、上野)</p> <p>第9回 日本生殖医療心理カウンセリング学会学術集会(福岡) 参加(関、篠田) MSD ランチョンセミナー座長: 院長 一般口演座長: 上野桂子 発表:「タイミング治療患者の性生活に関する意識調査」(二宮睦)</p> <p>第6回 別府遠征医学セミナー(別府) 参加(城戸、大津)</p> <p>第11回 第7期オリーブの会 参加者2名 第38回 JISART 理事会(東京) 参加(院長)</p> <p>JISART 施設認定審査審査員研修(東京) 参加(越名、大津、後藤裕、院長) 株式会社バズラボ フリーマガジン「ジネコ」夏号(Vol.14)取材</p>	03.03 03.04 03.06 03.07 03.10 03.13 03.15 03.17 03.19 03.22 03.24 03.25 03.25 03.25 03.25 03.25 03.25 04.02 04.02 04.02 04.06 04.07 04.07	<p>第178回 体外受精教室 参加者60名 参加(熊迫、北田、岡田、二宮、赤嶺、篠田) 産婦人科診療ガイドライン講習会「婦人科外来編2011」(大分) 参加(河邊、院長) 第107回 大分県周産期研究会(大分) 参加(山路、平松、青木、西郡、足立小、越名、金子、佐藤、後藤香、熊迫、大津、越光、後藤裕、上野、河邊、院長) 発表:「不妊治療における染色体検査の意義」(城戸京子) 「タイミング治療患者の性生活に関する意識調査」(齊高美穂)</p> <p>株式会社バズラボ・マーステラ「好活.net」 「妊娠出産に備える体づくり」:「女性として健康でいることの大切さ」をテーマとしたインタビュー取材</p> <p>第48回 「赤ちゃん～今ならきつと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者73名 講師(後藤裕(看護師長)、上野(臨床心理士)、院長) 参加(平松、大城、足立小、金子、坂本、手島、川村、足立直)</p> <p>第156回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 診療報酬及び介護報酬改正に伴う県下一斉説明会(大分) 参加(大城、青木、西郡、足立小、越名)</p> <p>卵巣に関する国際カンファレンス2012(東京) 講演:「Epigenetics of assisted reproduction」(院長) 発表:「An Anticancer Drug (Cyclophosphamide) Influences to the Fertilization and Embryo Growth in Mouse」(小池恵) 「The Methylation Analysis of Normal Genotype in ART Conception and Sperm」(佐藤晶子) (Poster Award 受賞)</p> <p>日本産科婦人科学会倫理委員会意見聴取のため参加(東京) (院長) 第4回 JISART フォローアップ部会・第2回 JISART 予後調査部門会(大阪) 参加(上野) 第12回 第7期オリーブの会 参加者2名 日本生殖再生医学学会第7回学術集会(東京) 大会長: 院長 参加(青木、越名) カレントトピックス「ART におけるエビデネティック機構」座長: 院長 シンポジウム発表:「当院の着床前診断の取り組み」(大津英子) 発表:「体外成熟培養(IVM)における出産時の臍帯血メチル化インプリントの解析」(佐藤晶子) 「凍結施行前と融解後における胚盤胞の呼吸量変化の比較検討」(熊迫陽子)</p> <p>平成24年度診療報酬改正メディコム説明会(大分) 参加(西郡、足立小) 第179回 体外受精教室 参加者49名 参加(大城、小池、北田、岡田、二宮、赤嶺、越光) 第49回 ガーネットサークル OG 1名、参加者3名</p> <p>大分大学医学部 鈴木馨先生研修のためご来院(4月13日まで) 新職員 萬美那子さん(看護部) 第43回 アルメイダ病院開院記念式典(大分) 参加(院長) 大分市医師会産婦人科～内分沁・不妊・代謝～懇話会(大分) 参加(山路、平松、大城、青木、西郡、足立小、越名、金子、小池、佐藤、城戸、熊迫、長木、指山、手島、北田、川村、岡田、足立直、二宮、齊高、赤嶺、河野、関、越光、後藤裕、河邊、院長)</p> <p>第63回 新患教室 参加者73名 参加(越名、城戸、萬、坂本、手島、川村、足立直、後藤裕) セント・ルカ産婦人科 &amp; メディック・ルカ合同お花見(大分・平和市民公園)</p>
04.02 04.02 04.02 04.06 04.07 04.07	<p>大分大学医学部 鈴木馨先生研修のためご来院(4月13日まで) 新職員 萬美那子さん(看護部) 第43回 アルメイダ病院開院記念式典(大分) 参加(院長) 大分市医師会産婦人科～内分沁・不妊・代謝～懇話会(大分) 参加(山路、平松、大城、青木、西郡、足立小、越名、金子、小池、佐藤、城戸、熊迫、長木、指山、手島、北田、川村、岡田、足立直、二宮、齊高、赤嶺、河野、関、越光、後藤裕、河邊、院長)</p> <p>第63回 新患教室 参加者73名 参加(越名、城戸、萬、坂本、手島、川村、足立直、後藤裕) セント・ルカ産婦人科 &amp; メディック・ルカ合同お花見(大分・平和市民公園)</p>	04.02 04.02 04.02 04.06 04.07 04.07	<p>著書 (院長) 「ART における加齢の問題」『臨床婦人科産科』(医学書院)(掲載予定) (上野桂子) 「生殖心理カウンセリング」『図説よくわかる産科不妊学 最新不妊治療ガイド』(中外医学社)(印刷中)</p> <p>翻訳 (院長) 「不妊症(原題: Infertility)」『障害の百科事典(原書: Encyclopedia of Disability)』(丸善出版株式会社)(印刷中)</p> <p>論文 (大津英子) 「夫が均衡型染色体転座46,XY,t(9:14)(q22.1;q32.1)を有した症例における着床前診断の報告」大分医師会医学雑誌アルメイダ医報 38(2):11-14.2012</p>

**妊娠報告件数**  
(2011.12.1~2012.4.30)  
体外受精、顕微授精等  
**95件**  
\*  
その他(体外受精以外)  
**87件**  
計 **182件**

**編集後記**

去年は、震災のためお花見ができませんでしたが、今年は無事にお花見ができ、皆で楽しい時間を過ごすことができました。新病院に移転しもうすぐ1年が経とうとしています。今年、開院20周年を迎えます。職員一丸となって頑張りたいと思います。(R・K)

